

平成23年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:底質(単位:pg/g-dry)
 地方公共団体:大阪府
 調査地点:大和川河口(堺市)

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[1] PCB類	39,000	4.5	12
[1-1] モノクロロビフェニル類	190	0.1	0.3
[1-2] ジクロロビフェニル類	4,500	1	3
[1-3] トリクロロビフェニル類	7,300	0.5	1.2
[1-4] テトラクロロビフェニル類	8,600	0.3	0.8
[1-4-1] コプラナー-PCBのうち 3,3',4,4'-テトラクロロビフェニル (# 77)	240	0.2	0.6
[1-4-2] コプラナー-PCBのうち 3,4,4',5'-テトラクロロビフェニル (# 81)	8.1	0.2	0.5
[1-5] ペンタクロロビフェニル類	8,800	0.4	1.1
[1-5-1] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4'-ペンタクロロビフェニル (# 105)	650	0.3	0.8
[1-5-2] コプラナー-PCBのうち 2,3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (# 114)	46	0.2	0.4
[1-5-3] コプラナー-PCBのうち 2,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (# 118)	1,300	0.4	1.1
[1-5-4] コプラナー-PCBのうち 2',3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (# 123)	37	0.3	0.8
[1-5-5] コプラナー-PCBのうち 3,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (# 126)	20	0.2	0.5
[1-6] ヘキサクロロビフェニル類	6,900	0.6	1.6
[1-6-1] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (# 156)	230	0.3	0.8
[1-6-2] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (# 157)	61	0.3	0.8
[1-6-3] コプラナー-PCBのうち 2,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (# 167)	95	0.4	1.0
[1-6-4] コプラナー-PCBのうち 3,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (# 169)	8.7	0.3	0.8
[1-7] ヘプタクロロビフェニル類	2,300	0.6	1.5
[1-7-1] コプラナー-PCBのうち 2,2',3,3',4,4',5'-ヘプタクロロビフェニル (# 170)	320	0.5	1.4
[1-7-2] コプラナー-PCBのうち 2,2',3,4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (# 180)	610	0.6	1.5
[1-7-3] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (# 189)	18	0.3	0.7
[1-8] オクタクロロビフェニル類	450	0.3	0.7
[1-9] ノナクロロビフェニル類	61	0.3	0.8
[1-10] デカクロロビフェニル	45	0.4	1.0
[2] HCB (ヘキサクロロベンゼン)	440	3	7
[4] ディルドリン	650	2	5
[5] エンドリン	80	0.4	1.1
[7] クロルデン類	15,000	2.5	6.5
[7-1] <i>cis</i> -クロルデン	4,400	0.4	1.1
[7-2] <i>trans</i> -クロルデン	4,300	0.5	1.3
[7-3] オキシクロルデン	83	0.9	2.2
[7-4] <i>cis</i> -ノナクロル	1,900	0.4	1.1
[7-5] <i>trans</i> -ノナクロル	4,500	0.3	0.8
[8] ヘプタクロル類	91	1.8	4.7
[8-1] ヘプタクロル	19	0.7	1.8
[8-2] <i>cis</i> -ヘプタクロルエポキシド	72	0.2	0.6
[8-3] <i>trans</i> -ヘプタクロルエポキシド	nd	0.9	2.3
[10] マイレックス	13	0.4	0.9
[11-1] α -HCH	350	0.6	1.5
[11-2] β -HCH	1,200	1	3
[11-3] γ -HCH(別名:リンデン)	140	1	3
[11-4] δ -HCH	210	0.5	1.4

(注1) 検出下限値以上を検出とした。

(注2) 定量[検出]下限値は同族体ごとの定量[検出]下限値の合計値とした。

平成23年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:底質(単位:pg/g-dry)
 地方公共団体:大阪府
 調査地点:大和川河口(堺市)

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[12] クロルデコン	1.5	0.20	0.40
[13] ヘキサブロモビフェニル類	tr(1.6)	1.4	3.6
[13-1] 2,2',4,4',5,5'-ヘキサブロモビフェニル (#153)	1.6	0.4	1.0
[13-2] 2,2',4,4',5,6'-ヘキサブロモビフェニル (#154)	nd	0.2	0.6
[13-3] 2,2',4,4',6,6'-ヘキサブロモビフェニル (#155)	nd	0.1	0.3
[13-4] 2,3,3',4,4',5'-ヘキサブロモビフェニル (#156)	nd	0.4	1.0
[13-5] 3,3',4,4',5,5'-ヘキサブロモビフェニル (#169)	nd	0.3	0.7
[14] ポリブロモジフェニルエーテル類(臭素数が4から10までのもの)	240,000	47	100
[14-1] テトラブロモジフェニルエーテル類	47	4	9
[14-1-1] 2,2',4,4'-テトラブロモジフェニルエーテル (#47)	530	10	30
[14-2] ペンタブロモジフェニルエーテル類	37	4	6
[14-2-1] 2,2',4,4',5'-ペンタブロモジフェニルエーテル (#99)	340	2	5
[14-3] ヘキサブロモジフェニルエーテル類	590	3	9
[14-3-1] 2,2',4,4',5,5'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (#153)	180	1	2
[14-3-2] 2,2',4,4',5,6'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (#154)	74	1	3
[14-4] ヘプタブロモジフェニルエーテル類	560	3	7
[14-4-1] 2,2',3,3',4,5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル (#175) 及び	320	3	7
[14-4-2] 2,2',3,4,4',5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル (#183) の合計値			
[14-5] オクタブロモジフェニルエーテル類	2,000	4	10
[14-6] ノナブロモジフェニルエーテル類	31,000	9	23
[14-7] デカブロモジフェニルエーテル	200,000	20	40
[15] ベルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	450	2	5
[16] ベルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOA)	460	2	5
[17] ペンタクロロベンゼン	480	2	5
[18] エンドスルファン類	730	14	39
[18-1] α -エンドスルファン	480	10	30
[18-2] β -エンドスルファン	240	4	9
[19] 1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン類	430,000 600,000 410,000	1,200	1,700
[19-1] α -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	16,000 22,000 22,000	280	420
[19-2] β -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	5,500 5,400 5,400	170	250
[19-3] γ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	410,000 570,000 380,000	260	400
[19-4] δ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	720 680 720	250	350
[19-5] ϵ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd nd nd	210	280
[20] N,N-ジメチルホルムアミド	nd nd nd	2,600	3,200

(注1) 検出下限値以上を検出とした。

(注2) 定量[検出]下限値は同族体ごとの定量[検出]下限値の合計値とした。